

令和 8 年度

あんじょう 協働 リビングラボ

NEWS LETTER ②

9月13日、日曜日の午前中、市民交流センター多目的ホールで令和8年度「あんじょう協働リビングラボ」の基礎編として、場づくりのコツを学ぶ「場リスタ（場づくりマスター）養成講座」の第2回を開催しました。参加者は、市民と事務局スタッフを含めて15人でした。

前半は、講師 TAKEZO から、前回出された「人が集まる場の困りごと」に答える形で、場づくりの基本的な考え方や具体的な工夫を紹介。

後半は、グループに分かれてアイスブレイクを体験したあと、アイスブレイクで大切にしたいことを話し合いました。また、場づくりにおける4つの「問題発生！」事例に対する解決策を、グループ内で担当する役割を変えながら話し合ったあと、自分自身の各役割でのふるまいをふりかえり、最後に全員で気づきを共有しました。

DAY2 場リスタ養成講座② 「場づくりのコツを学ぼう！」

1. 教えて！TAKEZO アンサーレクチャー

「人」を変えるのではなく、「場」を変えることで、多くの悩みは解決する！



雰囲気が悪い・・・

「場づくり。安心して発言できる雰囲気づくり」

- ・講義型、扇型、車座、島型など…会場レイアウトをどうするかで、雰囲気は大きく変わる！目的に応じて使い分けるといい。
- ・飲み物・食べ物・BGM も雰囲気づくりに効果的！
- ・場をときほぐすアイスブレイクでスイッチ ON！

「参加者は、お客さんでなく当事者に」

- ・会場を一緒に設営したり、役割を与えることで当事者意識、みんなで場をつくる意識を高める。

話が長い・声の大きな人・・・

「はじめにグラドルールを示しておく」

- ・傾聴しよう、私語や大演説は NG、人の意見を否定しない、提案型で話そうなど…「よりよい話し合いのため」のルールをあらかじめ共有。

「分節化。小さな単位（小人数）に分けて話す」

- ・クレマーがいる場合、対立構造にしないように小人数に分けて全体への影響を薄める。
- ・小人数で話すことにより、一人ひとりが話す時間が増え、参加者の満足度も上がる。

「話す順番」

- ・順に話す場合、若い人、立場が強い人、話の長くなさそうな人が先になるように工夫する。

脱線する・・・

「現在地を示す」ゴールに対して、今の現在地（今話しているのはココ！）を示し、本題に戻す。

- ・板書（ファシリテーショングラフィック）している場合は、脱線した話は、端（パーキングエリア）に書くことで、脱線していることを示す。

意見が出ない・・・

「目的＝『テーマ』＋『ゴール』を示す」

- ・「テーマ」だけでなく「ゴール」（何を決めるか？参加者が得られるものは何か、など）を示す。
- ・考えたくなるような具体的・魅力的な問いを立てる。

「ブレインストーミング。考える時間をとる」

- ・いきなり意見を聞かず、考える時間をとる、付箋や紙に書いてもらう、少人数で喋ってから全体で意見を聞くなど、発言する準備をしてもらう。

「ハードルを下げる」「ぶっちゃけどう？」「自分の言葉でいいですよ」と促したり、誰でもすぐ思いつきそうな例をいくつか示すと考えやすくなる。

まとまらない・・・

「基準の一致」合意形成する時、「何を大事にするか」優先順位を先に決めておくと、決めやすい。

「みんなの意思が見える化。方向感を確認」

- ・多重シール投票、旗あげ評定など、みんなの気持ちを意思表示。沈黙している人の意見も「見える化」することで、方向感を掴み、話を進めやすくする。

「委ねる」無理に誘導して結論を出さない。集まってきたみなさんに委ねる。知識や能力の差があっても無理やりそろえず、土俵をそろえる。多様だからこそ、場を開いて人が集まる価値がある。

人集め・・・

- ・何のためにやるか、そのターゲットはどんな人かを具体的にイメージし、その人のおトクを提示。
- ・関わる価値、自分が関わることで何か変えられるかもしれないという可能性が感じられるといい。クリエイティブなワクワク感を出す。

2. 魔法の杖～アイスブレイクあれこれ

グループに分かれて、3つのアイスブレイクを体験したあと、「アイスブレイクで大切にしたいこと」についてアイデアを出し合い、発表・共有しました。

1 ブレスト (ブレインストーミング) 対決

チーム対抗で、「リング」と聞いて思いつくものをできるだけ多く出し合ったあと、ユニークなアイデアを3つ選んで発表。ブレストの練習として、話し合いの導入にも使える。

2 新聞配達

向きや順番がバラバラになった新聞をグループみんなで協力して並べるゲーム。競い合うことでチームワークが高まる。

3 記憶だけで描こう

一人ひとり、記憶を頼りに1円玉やドラえもんなどを描いたあと、参加者同士で見せ合いっこ。失敗を共有することで場が和む、老若男女誰でもできるアイスブレイク。

ブレストとは…

頭の中に嵐を吹かすようにたくさん
さんのアイデアを出す発想法

ブレスト3箇条

- ①質より量
- ②笑いや奇抜さ重視
- ③横取り・相乗り大歓迎



アイスブレイクで 大切にしたいこと

- ・お互いを尊重する
- ・相手を知ろうとする
- ・褒め合う
- ・笑顔
- ・おもしろがる
- ・自由な発想
- ・体を動かす
- ・誰でも参加できる
- ・周りを見る
- ・肩の力を抜く など

3. 挑戦！場リスタ～こんなとき、どうする？



グループごとに、人が集う場での「問題発生！」の事例4ケースの解決方法を話し合いながら、「ファシリテーター」、「グラフィッカー」、「タイムキーパー」、「ムードメーカー」の4つの役割を順に体験。その、各役割に対して自分がどうだったかを自己評価し、グループ内でおしゃべりしました。

問題発生！ 事例②

「楽しすぎる常連さん」

あなたは、地域交流スペースの運営メンバー。初めて来た人から「仲のいい人たちだけで話していて、輪に入りづらい」と言われた。常連さんに、新しい人への声かけや、時々席を分かれたりするようお願いする？

☐ YES ☐ NO

4. チェックアウト

最後に全員で車座になり、今日の気づきを披露し合いました。

- ・グループで話していて、自分が普通だと思っていることがいかに普通じゃないかを改めて気づいた。これを家族もあてはめなきゃいけないなと。伝わっているなと思っていても伝わっていない。丁寧に対応しなければいけないと思った。
- ・ファシリテーターは、自分が議題をしっかり理解していないと周りに伝えることができないと感じた。またグラフィッカーの記録が合っているかや、時間配分も気にしないといけないと感じた。
- ・役割を意識するとうまくいくなと思った。問いを立てるということがうまくできたかなと感じた。

- ・「信じて委ねられるか」「人を揃えるのでなく土俵を揃える」が心に残った。自分で全部まとめようとせず、お互いの違い、価値を認め合うことが大事。家庭でも職場でも人を揃えようとするからぶつかってたんだ、土俵を揃えることで同じ方向に向かっていけるんじゃないかと思った。



ひとことアンケートより

人との対話によって、新たな視点に気づける。相手を尊重し傾聴することを実践でき、理解が深まる時間になりました／自分の思う事と、人の思う事は違う。とても新鮮な時間でした／場づくりのより具体的なコツについて聞くことができ、今後、自分がやりたいと思っていることに役立てられそう／役割分担の大切さを実感した ほか

【発行・問合せ先】

安城市役所 市民協働課

TEL 0566-71-2218

✉ kyodo@city.anjo.lg.jp